

平成 30 年度第 1 回（第 44 回）浜田市行財政改革推進委員会 会議録

日時 平成 30 年 7 月 19 日(木)10 時～11 時 50 分

場所 浜田市役所（5 階）議会全員協議会室

[進行／行財政改革推進課長、会長]

| | |
|----------------|--|
| ◆ 開会（10 時） | |
| 行財政改革推進課長 | <p>定刻になりましたので、只今から第 44 回、本年度第 1 回目の浜田市行財政改革推進委員会を開会します。</p> <p>傍聴人が 1 名おられ、ビデオ撮影をしたいという希望がありましたので、これを許可したいと思います。ご了承ください。</p> |
| 1 あいさつ | |
| 行財政改革推進課長 | 開会に当たりまして、光延会長からご挨拶をお願いします。 |
| 光延会長 | <p>皆様、おはようございます。7 月初めの集中豪雨では、私の地元の岡山をはじめ、広島、愛媛ではお亡くなりになった方もおられるなど深刻な被害を受けました。島根県も被害があり、皆様の中にもご心配があるかと思えます。お見舞い申し上げます。</p> <p>本日は、闊達な議論を進めていただき、浜田市の行財政改革が進展いたしますよう、ご協力よろしく願いいたします。本日は、議事 3 点についてご審議いただきますので、よろしく願いいたします。</p> |
| 〔欠席者報告・新任委員紹介〕 | |
| 行財政改革推進課長 | <p>本日の資料を確認させていただきます。事前に送付いたしました資料 1-1、資料 1-2 はご持参いただいたと思いますが、お手元に資料 1-3、資料 2-1 から 2-5、資料 3 とございます。</p> <p>本日の欠席者をお知らせします。樫山委員、下谷委員が所用により欠席です。市職員につきましては、議会事務局長、総務課長が欠席です。代理出席としまして、産業経済部参事の代理で産業政策課長、都市建設部長の代理で建設企画課長が出席しています。</p> <p>レジュメ及び出席者名簿について誤り等がございましたので、後ほど差替えをさせていただきます。</p> <p>ここで、新任の委員 4 名を紹介させていただきます。</p> <p>まず、(株)日本政策金融公庫浜田支店長の馬場真二様です。</p> |
| 馬場真二委員 | 皆様、おはようございます。浜田市のお役に立てるよう努めてまいりますので、どうぞよろしくお願い致します。 |
| 行財政改革推進課長 | <p>ありがとうございました。</p> <p>次に、連合島根西部地域協議会浜田地区会議副議長の堂端幸則様です。</p> |
| 堂端委員 | おはようございます。この度、浜田地区の副議長に就任いたしまして、今回この委員として就任させていただきました。よろしくお願い致します。 |
| 行財政改革推進課長 | <p>ありがとうございました。</p> <p>次に、金城自治区地域協議会委員の渡邊庄信様です。</p> |

| | |
|---|--|
| 渡邊委員 | おはようございます。初めてですので、よろしくお願いします。 |
| 行財政改革推進課長 | ありがとうございました。 次に、旭自治区地域協議会会長の馬場真由美様です。 |
| 馬場真由美委員 | おはようございます。この度は、旭自治区の協議会の方から参加させていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。 |
| 行財政改革推進課長 | ありがとうございました。 それでは、前回の会議の内容と本日の協議内容を確認します。 前回は、今年1月31日に、「新たな行革の取組」と「スポーツ施設の再配置」について、初めてのグループワーク形式による意見交換会を行いました。その場でご意見の取扱いについては、本日の協議事項(3)でご審議いただくこととしています。 本日の協議事項は、3点ございます。 1点目は「行財政改革実施計画の平成29年度実績と平成30年度計画(案)」について、2点目は「事務事業評価の実施」について、3点目は、先ほど申しました「行財政改革の推進に関する意見交換会のまとめ」についてご協議いただきたいと思っております。なお、本日の終了時刻は12時を予定しています。よろしくお願いいたします。 では、ここからの進行は光延会長にお願いします。 |
| 2 協議事項 | |
| (1) 行財政改革実施計画平成29年度実績及び平成30年度計画(案)について | |
| 会長 | それでは、協議事項(1)に移ります。 「行財政改革実施計画平成29年度実績及び平成30年度計画(案)」について、事務局から説明をお願いします。 |
| 行革推進係長 | 「行財政改革実施計画平成29年度実績及び平成30年度計画(案)【暫定版】」について説明させていただきます。 (資料1-1及び資料1-2の見方、主な項目について説明) |
| 行革推進係主任主事 | 続いて、資料1-3についてご説明いたします。(資料のポイントのみ説明) なお、行財政改革推進委員の皆様からは、行革実施計画に係る意見や質問の事前提出はございませんでした。本日の会議でご発言いただければと思いますので、よろしくお願いします。説明は以上です。 |
| 会長 | ただ今事務局から、平成29年度実績と平成30年度計画(案)について、説明がありました。 レジュメにあるとおり、本日は協議事項が多いため、質問される方、答弁される方は、要点をまとめて簡潔にお願いします。それでは、ご発言のある方は挙手をしてご発言いただければと思います。 |

| | |
|------|---|
| 野上委員 | <p>当推進委員会に出席するといつも思うのですが、非常に資料が多いので、とても難しく、分かりにくくなっていると思います。</p> <p>「1- (1) -9 定員適正化計画の管理・推進」について質問します。この計画の全体の進捗は、前年度比で 20%アップしていますが、現在の浜田市の人口を考えた場合、本当に適正な職員数は何人でしょうか。平成 33 年度までの計画となっていますが、それまでに市の人口はかなり減ると思っています。</p> <p>以前は、人口がかなり多い出雲市と比較して同じ程度の職員数であったと記憶しています。本当に適正な職員数の削減をしているのか。支所の職員数がかなり削られ、今後、本庁の職員も削られていくと考えますが、今から先の人口密度を勘案して適正な職員数を考える必要があると思います。</p> <p>職員が多いのではないかと考えていますが、いかがでしょうか。</p> |
| 総務部長 | <p>議会等からも、人口規模が同等の他の自治体と比較して、職員数が多いと指摘されています。これは、5 市町村が合併し、そのまま職員を引き継いだ経緯もあります。そこで、定員適正化計画を作り、職員数を減らすため 3 分の 1 採用を行ってきましたが、職員の年齢構成の偏りが問題となってきました。採用を抑制すると若手職員が少なくなり、将来、浜田市の自治体運営に問題が発生するため、現在は 5 分の 4 採用を行っています。</p> <p>ご意見のとおり、今後人口も減ることから、職員数も減らしたいと考え、昨年度、専門業者に依頼し事務事業量調査を行いました。どの部署でどのぐらいの仕事をしているか、それに見合う人員を他自治体とも比較をし、調査結果を出してもらっています。それを基に、今年度中には、10 年後に向けた新しい職員数の目標を立てることとしております。当然、職員数は削減する方向で考えております。</p> <p>一方で、浜田市と同じ人口で 400 億円程度の予算事業を実施している自治体はありません。それなりの職員数が必要になります。1 人ができる仕事量は決まっており、人を減らせば、仕事量を減らさないといけません。アウトソーシング等も導入し、業務の削減を行い、職員のスリム化を行うことを考えております。</p> <p>いずれにしましても、今年度中には新しい計画をお示しすることとしております。</p> |
| 会長 | 他にありますか。 |
| 賀戸委員 | <p>「1- (1) -3 タブレット端末の活用」についてですが、購入額が 264 万 4 千円ということなののでしょうか。また、更新等が必要と思いますが、それはいつ頃で、どの程度予算が必要になるのでしょうか。</p> |

| | |
|--------|--|
| 総務部長 | <p>本日は、議会事務局の職員が欠席していますので、詳細が分からず申し訳ありません。</p> <p>タブレット端末は議員に活用していただく予定で、インターネット回線及びwi-fiの設置費を今年度予算措置しております。タブレットの耐用年数は、6、7年と考えておりますが、その具体的な年数は決めておりません。</p> <p>タブレット端末は、今年度試行し、本格運用は来年3月議会から予定しています。</p> |
| 行革推進係長 | <p>タブレット端末を使用していただくことで、議案等のペーパーレス化ができるため、紙代や印刷代等の経費の削減額が2,644千円であるという意味です。</p> |
| 財務部長 | <p>今年度の予算では、約700万円をかけて議員にタブレット端末を配付します。これは、行革とは別の話になります。</p> |
| 賀戸委員 | <p>せっかく高価なタブレット端末を利用されるのであれば、ご自宅でも利用される環境が必要ではないかと思いました。</p> |
| 大谷委員 | <p>評価について、通常は前年度より下がる評価というのはあまりないと思うのですが、今回は7項目くらいあります。その中でも、P33「1- (1) -35 浜田市消防団の再編」は、記述してある実績などを見てもあまり変化がなく、進捗も0%から2%に上がっていますが、「B」評価になったのはなぜでしょうか。</p> <p>2点目は、P35「1- (2) -2 ひゃこるネットみすみの効率的運用」ですが、H29実績の「本庁支所間の協議不足により」というのは、具体的にはどのような内容なのでしょう。</p> <p>3点目は、P65「2- (1) -16 公立幼稚園の統合」ですが、原井幼稚園は5月時点で園児が2名となっていると思います。教育に投資するのは良いのですが、現実的にはもう少しスピードアップしないと園児もかわいそうなのではないかと思います。</p> <p>4点目は、P75「2- (2) -5 財務書類の作成、公表」ですが、「連結対象団体の財務書類が提出されない」のは、決算期の時期のずれのためなのか、他に何か理由があって提出がされなかったのかを教えてください。</p> |
| 財政課長 | <p>4点目「2- (2) -5 財務書類の作成、公表」ですが、決算期のずれではなく、関係団体（広域）からの書類の提出が当初の予定からかなり遅れて、3月までに提出いただけず、連結分の書類の作成ができなかったということです。</p> <p>ただし、実際には5月に提出いただき、現在は財務書類の作成をし、ホームページで公表しております。</p> |
| 教育部長 | <p>3点目「2- (1) -16 公立幼稚園の統合」ですが、現状はご指摘のとおりとなっております。この計画は原井幼稚園と石見幼稚園の統合ということで進めてきております。現在、原井幼稚園が2名で、来年度、新たに園児が入るかどうかを含め、今後の統合のあり方の検討が必要と考え、この度、計画を見直しさせていただきました。</p> <p>時期的にいつ統合というのは難しいですが、検討していきます。</p> |

| | |
|---------|--|
| 三隅支所長 | <p>2点目「1- (2) -2 ひゃこるネットみすみの効率的運用」について、回答いたします。現在、三隅地区では住民に行政情報を発信する重要なツールとして利用されています。統合する方向ではありますが、統合するには浜田市全域としてケーブルテレビをどのように考えていくか検討する必要があるということで、そここのところの意見の統一がまだできていないということです。</p> |
| 財務部長 | <p>1点目の回答については、担当者が席を外しております。</p> |
| 会長 | <p>分かりました。では、後ほど回答いただくということで、3点の項目については、よろしかったでしょうか。(大谷委員：了承)他にありますか。</p> |
| 槇岡委員 | <p>いろいろと検討する数も多いですし、取り組むべき問題が多いのですが、今まで考えていなかった世の中の流れで、指定管理の問題が今後出てくるのではないかと考えます。今まで行ってきたことに対して、見直しや評価を行う必要があるのではないかと思います。</p> <p>世の中全体も浜田市も、経営内容が良くないという声が多くなってきております。良いところは少ないため、今後こういう問題への対応はどのように考えていらっしゃいますか。</p> |
| 総務部長 | <p>指定管理者制度は当市も導入し、基本は公募によって、一部は指名もありますが、施設の管理運営を行っています。</p> <p>現在、弥栄のふるさと体験村について、皆様にご心配をおかけしておりますが、他の施設についても民間のノウハウを活かす方向で指定管理者制度に取り組んできましたが、なかなか見込んでいた収益が上がらないという問題等もあります。</p> <p>労務管理については、市も指定管理者に対し指導や監督をする必要があるのではないかとということで取り組んでおまして、指定管理者制度の運用にもいろいろな問題があることは認識しております。</p> <p>今後、第三セクターや指定管理を受けていただく団体等への対応をどうするか、専門的な部署を設ける必要があるかなど、検討が必要と思っております。</p> |
| 会長 | <p>時間もありますので、あともう1問程度、発言はありませんか。</p> |
| 馬場真由美委員 | <p>19頁「1- (1) -13 IT活用による業務改善の推進」についてですが、特に移動時間や会場等の経費の問題は、IT活用によって改善が図られると思うので、財政効果は出てこないかもしれませんが、今後、推進をしっかりといただきたいという要望です。</p> <p>次も要望になるのですが、「2- (1) -16 公立幼稚園の統合」について、さきほどありました園児2名というのは、やはり子育て環境としては適切ではないと思います。現在、保育園は認定こども園化しており、行政が幼稚園の運営を続けていく必要性を時代のニーズに合わせて見直しながら、早急に検討が必要なのではないかと思います。</p> |
| 会長 | <p>要望ということですが、何か回答がありますか。</p> |
| 教育部長 | <p>幼稚園の関係ですが、確かに浜田市でも「認定こども園」は増えております。委員ご指摘の件も含めて検討させていただきたいと思います。</p> |

| | |
|--------------------------|--|
| 会長 | それでは、協議事項（１）はこれで終了させていただき、５分休憩を取りたいと思います。 |
| 休憩 | |
| 会長 | それでは、再開します。 |
| 行財政改革推進課長 | 先ほどのご質問への回答をさせていただきます。 |
| 消防長 | <p>「1-（１）-35 浜田市消防団の再編」について、評価が下がったのはなぜかということですが、消防団組織は、平成 17 年に浜田市の合併とともに 5 つの消防団が合併し、現在までそのまま継続してきたわけですが、実員が大幅に減少しつつあります。各消防隊に、分団、班とそれぞれ組織化されていますが、その実員が極端に減ったため、班自体の運営や車両の運営の存続ができないということが起こってきました。</p> <p>それは、浜田市街地でも起こっております。浜田 4 班とありますが、浜田分団でもそういう現実がございます。浜田分団の中で新たな配置計画を協議していますが、協議が十分に整わず、分団の中での理解が進みませんでした。</p> <p>消防団全体の再編については、運営ができなくなった分団等を確認し、将来的に消防団として運営できるよう計画の策定は開始しましたが、完了することができず、評価を「B」といたしました。</p> |
| (2) 事務事業評価の実施について | |
| 会長 | それでは、協議事項（２）に移ります。 「事務事業評価の実施」について、事務局から説明をお願いします。 |
| 行革推進係長 | <p>それでは、「事務事業評価の実施」について説明させていただきます。 (資料 2-1 及び資料 2-2 で、事務事業評価の概要について説明)</p> <p>続きまして、事務事業評価における行財政改革推進委員会の関わり方について説明させていただきます。なお、この事務事業評価は、今年度新たに取り組むものであり、制度設計や評価シート、対象事業の選定や外部評価体制などは、光延会長、豊田副会長にもご相談させていただきながら、基本的に市の方で決めさせていただきましたので、ご了承ください。</p> <p>まず、外部評価体制として、行財政改革推進委員会に「行政評価専門部会」を設置することとしました。 (資料 2-3 で行財政改革推進委員会規則の第 5 条条文追加説明。) (資料 2-4 「行政評価専門部会」運営要綱の説明。行政評価専門部会は、行財政改革推進委員会委員のうちから 6 名以内で構成し、委員の互選により部会長及び副部会長を置くことについて説明。) (資料 2-5 では、事務局から事前に識見者及び公募委員の 6 名の方にご相談のうえ、委員を決定したことについて説明。)</p> <p>以上の体制で、二次評価として、対象事業のヒアリング・外部評価をお願いします。</p> |

| | |
|-----------|---|
| 行革推進係長 | <p>最後に、部会の運営について、3点、お諮りします。</p> <p>1点目は、先ほどご説明しました部会長及び副部会長の選出です。</p> <p>浜田市が直近で行政評価を行ったのは平成25年度になりますが、その時も外部委員として光延会長にご協力をいただいた経緯がございます。また、今回の事務事業評価につきましても、光延会長、豊田副会長に色々ご相談しながら進めてきた経緯もございます。それらを踏まえ、事務局案としましては、光延会長に部会長を、豊田副会長に副部会長をお願いしたいと思います。</p> <p>2点目は、部会の公開・非公開についてです。</p> <p>6名の部会委員に事前にご相談させていただいた際に、各事業の今後の方針を評価していただく上で、「部会委員個人としての意見が注目されては、闊達な意見が出せなくなるので、非公開にした方が良い。」との意見をいただきました。6名の部会委員ともに同様の意見だったことを踏まえ、専門部会による二次評価の会議は、非公開で開催してはいかがかお諮りします。なお、事務事業評価の結果については公表する予定です。</p> <p>3点目は、行財政改革推進委員会における二次評価結果の取扱についてです。</p> <p>専門部会での評価結果については、この行財政改革推進委員会にお諮りした上で、市長に報告するのが本来かと思いますが、専門部会では1事業ずつヒアリングを行い、その場で「今後の方針」を二次評価していただくため、委員の皆様には「報告」という形で、後日お送りさせていただきたいと考えています。</p> <p>また、光延会長に部会長もお願いできれば、二次評価で行財政改革推進委員会との調整が必要になった場合は、基本的に、部会長で会長でもある光延先生と調整の上、対応させていただきたいと思いますので、行財政改革推進委員会における二次評価の扱いは、光延会長にご一任いただきたいと思います。</p> <p>以上、部会の運営に係る3点について、お諮りします。</p> |
| 会長 | <p>事務局から説明をいただきました。</p> <p>「事務事業評価の実施について」と、部会の運営に係る3点の事務局提案について、分けて審議したいと思います。</p> <p>まず、「事務事業評価の実施について」前段の部分ですが、委員の皆様からご質問等がありましたらお願いします。</p> |
| 賀戸委員 | <p>委員にはどのような形で事業内容を知ってもらうことになるのでしょうか。</p> |
| 行財政改革推進課長 | <p>「元気な浜田事業」と「外部委託等を検討する事業」で43事業ございますが、事前に6名の委員に資料送付をさせていただいております。事業内容については、委員が担当課にヒアリングし、質疑応答を行うこととしています。</p> |
| 会長 | <p>続きまして、後段の部分ですが、部会の運営に係る3点について、事務局から提案がありました。</p> <p>1点目、部会長・副部会長の選出について、お諮りします。適任かどうかわかりませんが、部会長に私、副部会長に豊田副会長ということで、事務局から提案がありました。</p> <p>6名の部会委員の皆様、よろしいでしょうか。ご質問等ありましたらどうぞ。</p> |

| | |
|--------------------------------------|---|
| | (「よろしくお願ひします。」の声あり) |
| 会長 | <p>責任が重いですが、頑張りたひと思ひます。それでは、部会長に私、副部会長に豊田副会長ということで、よろしくお願ひします。</p> <p>続いて2点目、部会の公開・非公開についてです。部会委員からのご意見も踏まえ、会議は非公開で行うという事務局提案です。行財政改革推進委員会委員の皆様にお諮りしますが、皆様、ご異議ありませんでしょうか。</p> <p>(異議なしの旨の声あり)</p> |
| 会長 | <p>それでは、異議なしと認め、専門部会は非公開とさせていただきます。</p> <p>続いて3点目、行財政改革推進委員会における二次評価結果の取扱についてお諮りします。</p> <p>二次評価の結果については、行財政改革推進委員会委員の皆様には「報告」という形で後日送付させていただきます、事務局との調整が必要になった場合は、会長・部会長である私に一任いただくという提案です。</p> <p>行財政改革推進委員会委員の皆様にお諮りしますが、皆様、ご異議ありませんでしょうか。</p> <p>(異議なしの旨の声あり)</p> |
| 会長 | <p>それでは、異議なしと認め、二次評価の結果については、委員の皆様には「報告」とさせていただきます、事務局との調整は私が行財政改革推進委員会の会長として対応させていただきますこととします。</p> <p>以上で、協議事項(2)は終了とさせていただきます。</p> |
| (3) 行財政改革の推進に関する意見交換会のまとめについて | |
| 会長 | <p>続いて、協議事項(3)「行財政改革の推進に関する意見交換会のまとめについて」を議題とします。</p> <p>この件については、副会長に意見交換会の段取りとファシリテーター役を務めていただいたので、まずは副会長から振り返りと意見の要旨について説明をお願いします。</p> |

| | |
|-----|---|
| 副会長 | <p>1月31日の行財政改革推進委員会では、初の取組としてグループワークのディスカッションを行いました。ご参加いただいた皆様ありがとうございました。</p> <p>趣旨としましては、行革をより良く進めていくためにということで、2つのテーマ「(1)新たな行革の取組」と「(2)スポーツ施設の再配置」について、複数のグループで意見交換会を行いました。</p> <p>これをやろうと思ったきっかけですが、この行財政改革推進委員会の会議では、一つひとつの案件について「良い・悪い」等の評価をしていくだけでありますが、それだけでは、私たちが普段それぞれの地域で、またそれぞれの立場で考えていることが計画に反映されないのではないかとということで、私たちが持っている意見等をざっくばらんに話し合う場が必要ではないのかと思い、グループワーク形式での意見交換会を開催したわけです。狙いとしては、普段、私たちが持っている思いや気づきを共有すること、また「なぜ、取組ができていないのか。」という課題についての整理をすることでした。</p> <p>実際に出てきた意見をまとめたものが、資料3となります。これは、当日出た意見を事務局でまとめてもらいました。</p> <p>簡単に説明をさせていただきますと、最初の「テーマ1新たな行革の取組について」は、これまでの事業の見直しをより進めるべきだという意見や、職員の意識改革だったり、儲ける姿勢、コスト意識の行政側の変革も必要というものでした。また、意見が多く出たところでは、私達委員は、行革をなぜ進めていかなければいけないのかという理解がありますが、住民の方々はそこまでの知識や意識が高くないのではないかと指摘がありました。</p> <p>公共施設の再配置については、統廃合や多目的利用であったり、複合化を進めていかななくてはならないところですが、それを進めるためにも、「住民の方からのニーズを把握した上で複合化など実施することが必要」、また「住民の方により分かりやすい資料の提供をした上で、積極的に参加してもらい議論することが必要」という意見がありました。意見の詳細は、資料を参考にしてください。</p> <p>裏面は「テーマ2スポーツ施設の再配置について」ということで、より具体的なテーマを絞ってディスカッションをしました。</p> <p>ここでも、同様の施設がいくつかあるということで、再配置や統合が必要だという意見であったり、答申に基づいて市の姿勢を示すべきだという意見などがありました。グループによっては地域ごとに特色のある施設を配置することが必要という意見などもありました。</p> <p>せっかくの機会ですので、この意見を基に、委員会の意見として、市長に意見書を提出することを提案したいと思いますが、いかがでしょうか。</p> |
| 会長 | <p>副会長から説明がありました。まとめた意見については、市長に意見書を提出しようという提案ですが、事務局はいかがでしょうか。</p> |

| | |
|-----------|--|
| 行財政改革推進課長 | <p>副会長から提案があった市長への意見書の提出については、他の委員からも同様の意見をいただきました。</p> <p>事務局としましては、良い意見をたくさんいただきましたので、それをある程度ポイントを絞ってまとめた形にはなると思いますが、市長へ書面で提出されるのは良いかと思います。</p> <p>次回の行財政改革推進委員会の開催は、10月～11月頃になると思いますが、その際に、会長・副会長と調整してある程度の意見書の原案を作成し、委員の皆様にお示ししたらどうかと思います。</p> |
| 会長 | <p>次回の推進委員会の開催において原案をお諮りするということですが、委員の皆さん、いかがでしょうか。</p> <p>(了承する旨の声あり)</p> |
| 教育長 | <p>スポーツ施設の再配置について、いろいろな角度からご意見をいただきありがとうございます。</p> <p>現在、教育委員会において、スポーツ施設の再配置についての考え方をまとめつつあります。秋の段階では、素案をある程度お示しする形にしております。10月に市長へ意見書を出されるのは結構ですが、それまでのところで、これまでの意見を参考にしながら、教育委員会で事務を進めたいと思っておりますので、ご理解をいただければと思います。</p> |
| 会長 | <p>その報告は、この推進委員会でされる予定ですか。</p> |
| 教育長 | <p>可能であれば、9月の定例市議会に素案を出したいと思っております。それができたら、10月の推進委員会に資料をお示しできるのではと思います。</p> |
| 馬場真由美委員 | <p>これを整理されるということであれば、意見書の作成は、それを踏まえて案を作成するということですね。</p> |
| 会長 | <p>段取りとしては、先ほどの教育長の意見を踏まえ、意見書の原案を練って、10月～11月の推進委員会の際に原案をお示しし、皆さんから意見をいただいて決定するということになると思います。</p> <p>事務局はその段取りでよろしいでしょうか。</p> |
| 行財政改革推進課長 | <p>その流れになると思います。また、教育委員会の案が公表されれば、委員の皆様にも郵送でお知らせする等、考えたいと思います。</p> |
| 会長 | <p>秋の推進委員会において、意見書の原案を基に皆様と考えることになると思います。</p> <p>その他、全体を通じて皆様の意見をいただきたいと思います。委員の皆様からご意見等がありましたらお願いします。</p> |
| 三浦委員 | <p>P63「2-(1)-15 学校給食施設の統合」についてですが、かなりの年数をかけて懸案事項になっていると思います。過去からいろんな統合できない理由があったことは承知していますが、5、6年もかかって、まだこの段階かという理由が述べてあります。いつになったら統合の予定なのでしょう。</p> |

| | |
|--------------|---|
| 教育部長 | この計画の中にも「当面検討」となっております。これとは別に、学校の統合の審議会を開催しており、その審議結果を踏まえ、学校の統合計画を作成することになります。その統合計画によって、その後、学校給食の統合について検討・計画することになります。よって、まだ時期的にいつという回答ができませんので、ご理解いただきたいと思ひます。 |
| 3 その他 | |
| 会長 | 他にご意見、ご質問がなければ、協議事項については終了します。 それでは、その他に移ります。事務局から連絡等をお願いします。 |
| 行財政改革推進課長 | それでは、2点の事務連絡をさせていただきます。 まず、「(1)浜田市市有財産利活用方針及び市有財産売却計画について」です。本日の参考資料として、冊子を2冊お配りしています。市が所有する遊休財産を積極的に処分していくために、本年6月に、市有財産利活用方針と、具体的な財産の売却計画を策定しました。売却物件の情報については、浜田市ホームページでも随時更新しています。 これも行革の取組の一環ということで情報提供させていただきます。 (参考資料1及び参考資料2について説明) 次に、「(2)今後の予定について」です。次回の会議は、10月～11月頃に開催する予定です。議題は、「公共施設再配置実施計画の別冊(平成30年度版)(案)」についてご審議いただくこととしております。開催日時は、9月頃にご案内させていただきますので、よろしくお祈ひします。 |
| 会長 | 事務局から事務連絡がありましたが、ご質問はございませんか。 |
| 大谷委員 | 財産の貸付の関係で、福祉施設についてですが、高齢者施設及び障がい者施設について減免などで格差がありますか。全く同じ条件ですか。 |
| 行財政改革推進課長 | 2つの施設の減免はしていますが、格差はありません。 |
| 賀戸委員 | 参考資料1「浜田市市有財産利活用方針」6頁の「5 遊休財産利活用の具体的な方法」で、「(1)保有継続する財産、「ウ 地域、団体等から市の保有継続について要望がある財産であつて、保有継続することが適当であると認められる財産」について具体的に教えてください。 |
| 行財政改革推進課長 | 具体的な事例ですが、市の一部の施設では集会所的な施設や地域振興に資するような施設があります。そういった施設については、地元要望などを踏まえて市の内部で協議し、保有継続すべきと決定すれば保有するという意味です。 |
| 会長 | この他、委員の皆さんから何かありますか。 特に無いようでしたら、以上をもちまして浜田市行財政改革推進委員会を終了したいと思います。 |

| | |
|------|--|
| 副市長 | <p>委員の皆様には長時間にわたりご審議いただき、ありがとうございます。皆様からいただいた意見を参考にこの取組を進めていきたいと思ひますし、事務事業評価の行政専門部会が明日から始まりますが、担当していただく委員におかれましては、どうぞよろしくお願ひします。</p> <p>1点、先ほど職員数について、野上委員からご質問いただいた件について補足いたします。</p> <p>合併して間もない平成19年度に定員適正化計画を作成していますが、当時の職員数は、4月で約680名だったと思ひます。それを10年間で約130名削減する計画でした。平成27年度当初で110名くらい削減しており、平成29年度まではその計画を進める予定でした。しかし、先ほど総務部長から説明した事務事業も予算規模も増えたという理由に加え、若手職員が少ないという極端にいびつな職員構成になってしまいました。20代、30代の職員が大変少ない状況で、10年後、20年後の行政運営を考えますと、どうなっていくのかという危機感がございます。現在、退職者に対して5分の4採用を行っていますが、中期財政計画ではこれから10年間の財政見通しで、さらに60～70名の職員削減をしなければならないという試算もございます。</p> <p>昨年度実施した事務事業量調査の結果を基に、新たな定員適正化計画を作成することとしております。この計画も削減方向の内容が出ると思ひますが、これから3年間はかなりの職員が退職する予定であり、削減だけではなく採用の部分も工夫し、若手職員の確保を行う必要があります。</p> <p>職員数の削減については、行財政改革と密接な関係があります。今までの行財政改革は、人件費の削減が効果につながっていることも事実です。市民サービスを削減するのは難しく、現在の事務事業や予算規模を継続実施すれば、職員数が不足する心配も出てきます。よって、職員構成のバランスも考えながら、今後の採用計画の検討を行うことが必要となりますので、その点についてご承知いただきたいと思ひておりますので、よろしくお願ひします。</p> |
| ◆ 閉会 | |
| 会長 | <p>それでは、以上をもちまして浜田市行財政改革推進委員会を終了いたします。長時間にわたりご審議いただき、ありがとうございました。</p> |

(午前11時50分閉会、所要時間1時間50分)